

日高地域の広域連携による教育旅行誘致の取り組み

背景

- ・ 日高エリアには海・山・川の自然や産業を活かした豊富な体験メニュー、民泊受け入れ組織、加えて京阪神からのアクセスの良さから、修学旅行など教育旅行のフィールドとして国内外からの受け入れが増加している。
- ・ ただ、現状では市町単位で取り組んでおり、大規模人数の受入に限界がある。
(例) 民泊可能人数：印南町 60 人、日高川町 30 人
- ・ また、各市町単位では対応窓口がバラバラで広域的なプロモーションも困難

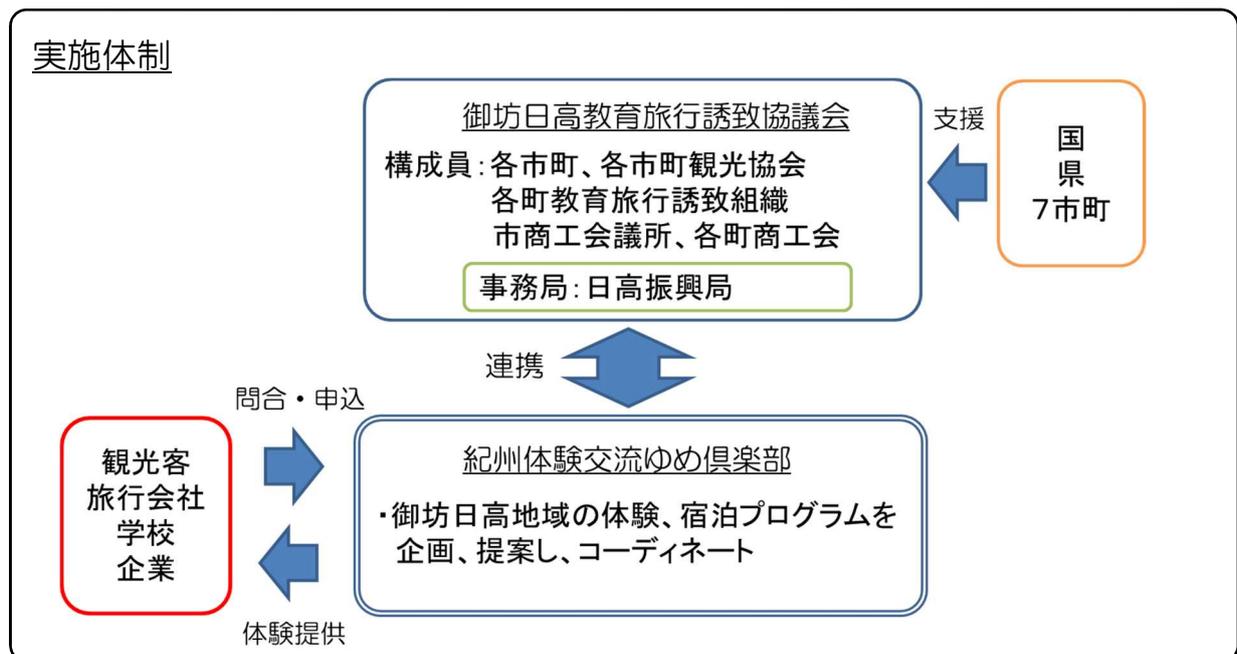


令和元年7月より約1年半かけ、関係者で広域連携の議論を実施してきた。



7市町で官民連携の組織を立ち上げ、令和3年度より修学旅行など教育旅行を誘致する日高広域事業を開始！

実施体制



事業内容

- (1) 窓口を一元化し、旅行会社や学校等のニーズに迅速・柔軟に対応できる体制を構築
- (2) 新規民泊受入家庭や体験メニューの掘り起こし
- (3) 民泊・民宿・ホテルと体験メニューを一体的にプロモーション

目標

交流人口の拡大による地域の活性化

- ・【経済的効果】地域の観光事業者等の売上増加、一次産業従事者の所得向上等
- ・【社会的効果】地域コミュニティの維持・強化、人材育成、地域住民の地元への愛着と誇りの醸成等